



## 文部科学省共同利用・共同研究拠点 「人工光合成研究拠点」 ニュースレター創刊にあたって

人工光合成研究センター所長  
天尾 豊

平成25年6月に開所した人工光合成研究センターが、平成28年4月に文部科学省から共同利用・共同研究拠点「人工光合成研究拠点」として認定されました。認定期間は平成34年3月末までの6年間です。これまで人工光合成研究センターは人工光合成技術の実用化を目指した産学連携拠点として、主に企業との共同研究の場として共同研究部門3部門の設置及び研究推進と企業との共同研究を複数進めてまいりました。今回認定されました「人工光合成研究拠点」では主に本拠点が保有する高度分析装置等とこれまで培ってきた学術的知的資産及び人工光合成の技術的ノウハウを学外に提供することにより、大学、公的研究機関、産業界等との共同利用・共同研究を促進してまいります。光合成タンパク質の機能解明と人工光合成への応用、二酸化炭素を分子変換する分子・生体触媒の創製、半導体光触媒を用いた光水素製造・二酸化炭素還元系の創製、人工光捕集システムの創製と人工光合成への応用やその他太陽電池・エネルギーキャリア・化成品合成のための人工光合成研究を対象とした共同研究を広く学外に公募し、推進していくとともに、定期的な人工光合成に関するセミナー開催・ニュースレターの発行も計画しております。

ぜひとも大阪市立大学・人工光合成研究拠点を共同研究の場として活用していただきたくお願いいたします。



大阪市立大学「人工光合成研究拠点」

<http://recap.osaka-cu.ac.jp/ap-coe/index.html>

Facebook



<https://www.facebook.com/RECAPOSAKACUACJP/>



## 大阪市立大学「人工光合成研究拠点」 キックオフセミナー開催される

平成28年8月17日(水)、学術情報総合センターにおいて「人工光合成研究拠点 キックオフセミナー」を開催しました。文部科学省から人工光合成研究に特化した「共同利用・共同研究拠点」の認定とともに、併せて「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業～スタートアップ支援」にも採択されことを受けて開催されたものです。会場である文化交流室には、超満員の約120名の参加者となりました。セミナーは、荒川 哲男 学長による開会あいさつの後、文部科学省研究振興局学術機関課課長補佐 坂場 知行 氏が「共同利用・共同研究拠点」および「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業～スタートアップ支援」事業について、と題して国レベルでの取り組みの紹介や、拠点活動の推進により大型学術研究計画へのプランニング等本センターへの期待などを述べられました。

続いて、人工光合成研究分野の第一人者である首都大学東京 井上 晴夫 特任教授による「人工光合成の現状と展望」と題した記念講演では、人工光合成研究が社会実装するために目指すべき明確な目標やその現状について述べられ、さらに今後必要となってくる大きな変化を引き起こすための思い切った取り組みなどの紹介がありました。

その後、人工光合成研究センター所長の天尾 豊教授による人工光合成研究拠点紹介があり、最後に宮野道雄 産学官連携推進本部長による閉会あいさつで本セミナーは終わりました。

今後、人工光合成研究センターがイニシアチブを取り、これまで蓄積してきた本学の光合成・人工光合成研究の成果を基盤としながら、内外から広く共同研究課題を公募し、共同研究活動を推進していくこととなります。また定期的なワークショップや国際シンポジウムの開催など、国内はもとより国際的な人工光合成研究拠点としての役割を果たしてまいります。

人工光合成研究拠点 ニュースレター

第1巻・第1号平成25年11月1日発行

発行責任者：天尾 豊(大阪市立大学人工光合成研究センター所長)

編集責任者：吉田朋子(同副所長)

<http://recap.osaka-cu.ac.jp/ap-coe/index.html>